



干潟の足跡

干潟の上には、よく見るといろいろな模様がある。写真（左）も、そのような模様の一つであるが、ただ風雨波などの模様ではなく、生き物が歩いた足跡なのである。どのような生き物かという、写真（右）の鳥たちである。チドリやシギの仲間であるが、この足跡をたどると、砂ダンゴ（左側の写真手前）が多くある。

おそらく、ミナミコメツキガニやコメツキガニなどの小さなカニを、チドリ足で近づいて、ねらって食べたのであろう。干潟には、渡り鳥にとって、エサとなる小さな生き物が多くすむ。写真左の砂ダンゴ付近をよく見ると、中心部に1cm位の穴がある。この穴は、砂ダンゴを残したカニの巣穴である。チドリ足で近づいた鳥から、運良くのがれる事が出来たであろうか。